



つくばみらい市 議会だより



みらいのとびら

令和5年11月1日発行 第70号

特集

みらい(味噌)を創る

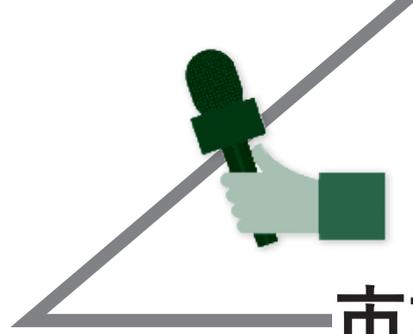
つくばみらい6次産業ワーキンググループ

いくとせ

Contents

特 集	P 2
一般質問	P 8

つくばみらい6次産業 ワーキンググループ



市議会

今回は市民活動まちづくりセンター（みらい平市民センター内）の登録団体である「つくばみらい6次産業ワーキンググループ」代表平山直之さんにお話を伺いました。

Q 「つくばみらい6次産業ワーキンググループ」について教えてください。

A 団体を立ち上げたのは2022年10月です。メンバーは3名で、私と市



代表 ひらやま なおゆき さん
平山 直之 さん

内で循環型農業「馬の恵^{めくみ}ファーム」を以前から展開している山^{やま}蔦^{つた}氏が中心となって活動しています。山蔦氏の農作物と私が作るソーセージで1次産業と2次産業のコラボをしてみようというのが立ち上げのきっかけです。

Q 平山さんは市内でソーセージ等の食肉加工会社を起業されていますが、

6次産業化に注目したのはなぜですか？

A 食肉製品製造業は国家資格が必須であり、求められる食品衛生管理などが、これとつくばみらい市の基幹産業である農業が上手く融合できると、これで他のソーセージと差別化ができると思ったのが始まりです。

Q 平山さんは現在食肉加工製品業界ですがご経歴は色々ありますね。

A 元々は都市銀行に勤める銀行マンでしたが、好きなゲーム会社に移り、趣味で始めた燻製作りがきっかけでドイツ職人の本格ソーセージなど作りたくて修行した後、食肉加工会社を始めました。いろいろ新しいことを立ち上げていくことが得意だったのかもしれない。



茨城大学との商品開発

Q ドイツ伝統のソーセージだけでは

なく6次産業化など色々なコラボ
をしているのはどうしてでしょう
か？

A 伝統的な作り方だけですと顧客層

が偏りがちなことと、小さいお子
さんや若い子育て世代の方々にも、
無塩せき、発色剤を使用しない安

全で美味しいものを食べていただ
きたいこと、つくばみらい市の特
性である1次産業を食肉加工品を
通して6次産業化し、つくばみら
い市の魅力を市外に周知したいと
いうことが理由かもしれません。

Q グループとしての今後の展開はど

のようなものをお考えですか？

A 現在市町村の壁を越えて、茨城大

学、東海村と一緒に新商品の開発
に取り組んでいます。東海村特産
の干し芋を作る過程で出る未利用
品、切れ端を使ってソーセージ等
とあわせて新商品を開発していま
す。ドイツ製法で本格的な食品を
作りつつ、これまでにない新しい
取り組みを積極的に行っています
ので、市内でも同じような考えを
持っている方々がいれば何か一緒
に取り組めたらと考えています。



黒にんにくソーセージとおむすびソーセージ

代表の平山さんの会社（株式会社
せ）が作られているハム・ソーセージは
2022年12月からつくばみらい市のふ
るさと納税の返礼品にも選ばれて大好評
となっています。是非皆さんにもお試
しいただきたいですね。

本日はお忙しい中、取材にご協力
いただきましてありがとうございます。
また、取材に際してはご迷惑が
ないよう努めます。引き続きご
協力をお願いします。

(取材者 小林芳子・守谷智明)

つくばみらい市の こんなことが決まりました

第3回定例会 9月1日～9月25日
(25日間)

議案審議

●第3回定例会で審議した案件

市長提出案件	28件
議員提出案件	1件
請願	3件
計	32件



ここに注目



決算特別委員会で、
令和4年度決算を審査しました

今定例会では、決算特別委員会を設置し、委員会は付託された認定第1号から認定第6号、議案第46号及び議案第47号について、9月15日、19日、20日の3日間にわたり開催し、慎重な審査を行いました。

◎令和4年度の各会計の歳入歳出決算額などは、次のとおりです。

一般会計	歳入決算額	271億1,299万4,023円
	歳出決算額	261億8,635万6,368円
国民健康保険特別会計	歳入決算額	43億8,088万6,34円
	歳出決算額	43億6,168万6,682円
後期高齢者医療特別会計	歳入決算額	6億8,244万8,864円
	歳出決算額	6億8,105万83円
介護保険特別会計	歳入決算額	39億9,442万8,084円
	歳出決算額	37億7,667万7,382円
水道事業会計	収益的収入	15億7,527万6,300円
	収益的支出	14億3,087万2,415円
	資本的収入	6億87万1,685円
	資本的支出	10億1,060万6,165円
下水道事業会計 (公共下水道)	収益的収入	19億697万138円
	収益的支出	14億4,041万8,582円
	資本的収入	3億9,206万3,372円
	資本的支出	7億7,935万5,515円
水道事業会計剰余金の処分 当年度未処分利益剰余金		1億8,157万9,964円
下水道事業会計剰余金の処分 当年度未処分利益剰余金		6億4,473万9,735円

※水道事業会計及び下水道事業会計の資本的収支の不足分は、積立金などで補てんしました。

諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

Pick up1

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員の任期満了に伴い、議会の意見を求められ、次の方を適任と認めました。

古川 秋田 政夫 (再任)

同意第3号(第7号)

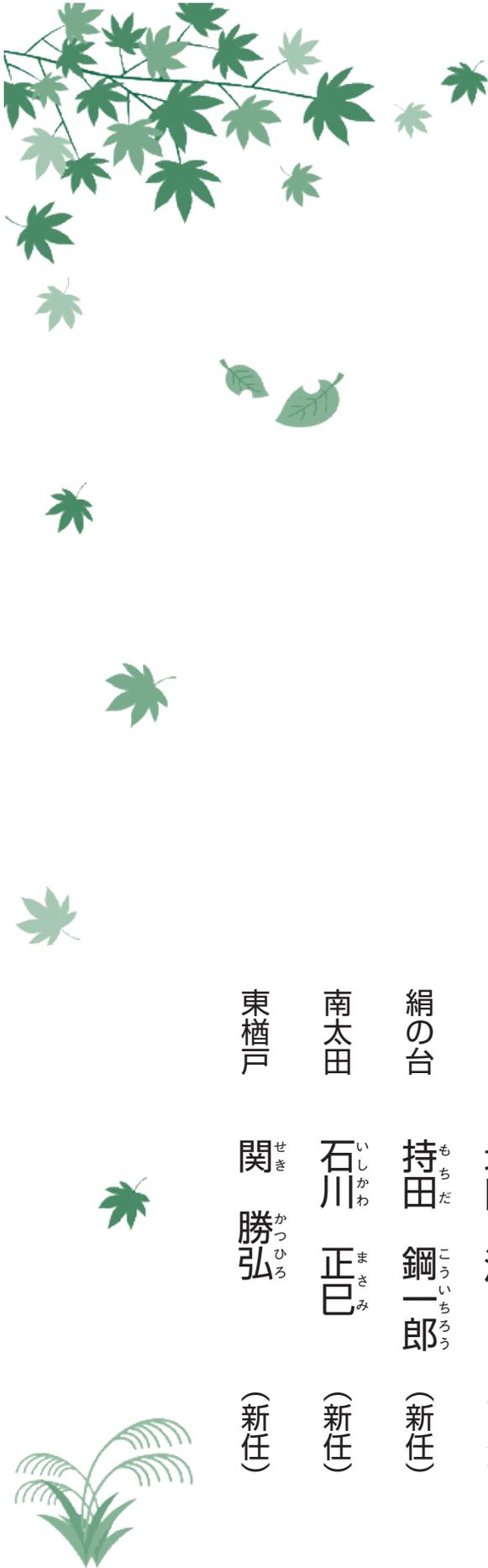
政治倫理審査会委員の委嘱について

Pick up2

政治倫理審査会委員の委嘱について

政治倫理審査会委員の任期満了に伴い、議会の同意を求められ、次の方の委嘱に同意しました。

中島 鈴木 清 (再任)
筒戸 坂田 清 (再任)
絹の台 持田 鋼一郎 (新任)
南太田 石川 正巳 (新任)
東榎戸 関 勝弘 (新任)



令和5年第3回定例会 議決一覧表

議案番号	議案名	結果
報告第 8 号	専決処分の報告について (第2号)	報告
報告第 9 号	健全化判断比率等の報告について	報告
報告第 10 号	令和4年度つくばみらい市一般会計継続費精算報告書について	報告
諮問第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
同意第 3 号	政治倫理審査会委員の委嘱について	同意
同意第 4 号	政治倫理審査会委員の委嘱について	同意
同意第 5 号	政治倫理審査会委員の委嘱について	同意
同意第 6 号	政治倫理審査会委員の委嘱について	同意
同意第 7 号	政治倫理審査会委員の委嘱について	同意
議案第 42 号	つくばみらい市子育て応援住宅条例	原案可決
議案第 43 号	つくばみらい市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第 44 号	つくばみらい市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第 45 号	つくばみらい市立学校体育施設の開放に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第 46 号	令和4年度つくばみらい市水道事業会計剰余金の処分について	原案可決
議案第 47 号	令和4年度つくばみらい市下水道事業会計剰余金の処分について	原案可決
議案第 48 号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第 49 号	事業契約の締結について	原案可決
議案第 50 号	令和5年度つくばみらい市一般会計補正予算 (第5号)	原案可決
議案第 51 号	令和5年度つくばみらい市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)	原案可決

議案番号	議案名	結果
議案第 52 号	令和 5 年度つくばみらい市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 53 号	令和 5 年度つくばみらい市水道事業会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 54 号	令和 5 年度つくばみらい市下水道事業会計補正予算（第 2 号）	原案可決
認定第 1 号	令和 4 年度つくばみらい市一般会計決算認定について	原案可決
認定第 2 号	令和 4 年度つくばみらい市国民健康保険特別会計決算認定について	原案可決
認定第 3 号	令和 4 年度つくばみらい市後期高齢者医療特別会計決算認定について	原案可決
認定第 4 号	令和 4 年度つくばみらい市介護保険特別会計決算認定について	原案可決
認定第 5 号	令和 4 年度つくばみらい市水道事業会計決算認定について	原案可決
認定第 6 号	令和 4 年度つくばみらい市下水道事業会計決算認定について	原案可決
発議第 5 号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書	原案可決

番号	請願・陳情名	結果
請願第 1 号	消費税インボイス制度の実施延期及び中止を求める意見書を国に提出することを求める請願書	不採択
請願第 2 号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	採 択
請願第 3 号	「再審法改正を求める意見書」採択に関する請願書	継続審査

討 論

第 3 回定例会

認定第 1 号

令和 4 年度つくばみらい市一般会計
決算認定について



【反対討論】

古川よし枝 議員

【賛成討論】

小林芳子 議員

認定第 2 号

令和 4 年度つくばみらい市国民健康
保険特別会計決算認定について



【反対討論】

古川よし枝 議員

【賛成討論】

守谷智明 議員

認定第 3 号

令和 4 年度つくばみらい市後期高齢
者医療特別会計決算認定について



【反対討論】

間宮美知子 議員

【賛成討論】

守谷智明 議員

聴きたい 知りたい 市政

一般質問
(要旨)

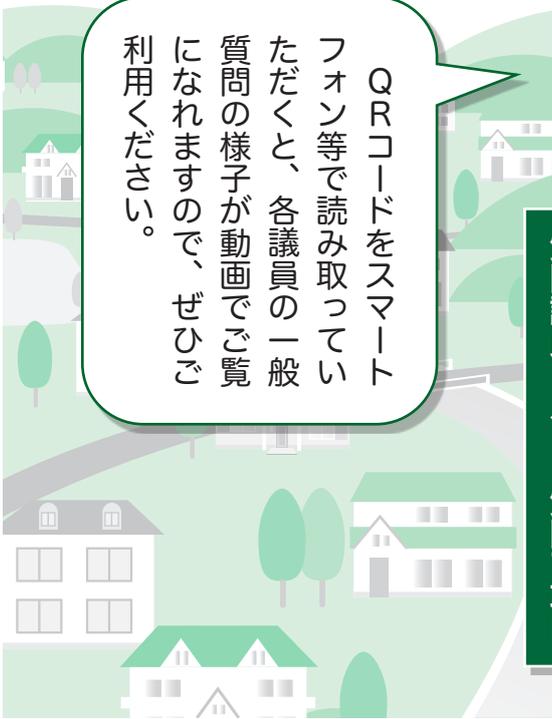
一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？
質問は、議員本人が概ね200字を目安に要約しています。

質問議員9人

質問18項目

QRコードをスマートフォン等で読み取っていただくと、各議員の一般質問の様子が動画でご覧になれますので、ぜひご利用ください。



歴史公園(ワープステーション江戸)周辺地区の開発構想について



中山 治

●中山治議員

南太田地区は、県道取手つくば線の開通による利便性の向上に加え、歴史的価値のある遺産・遺構が現存していること、豊かな自然が多く残っていることが、大きな魅力である。

これらの魅力を活かし、高齢者や子どもたちが、くつろげ、集まれる場所として、レストランやキャンプ場、木々に囲まれた雰囲気の店舗など、仕事や人生のやすらぎの場となるような開発構想になることを望んでいるが、市が考える開発構想について伺う。

●都市建設部長

本地区は、「つくばみらい市都市計画マスタープラン」において、複合産業拠点として位置づけ、土地利用の展開についての取組を進めている。

市としては、多様な地域資源を生かし、「自然・文化・食」というテーマを掲げ、市民に喜ばれ、そして市外からも人が集まる魅力ある拠点の形成を目指して開発を進めていきたいと考えている。

今後、ワープステーション江戸の状況把握や企業へのヒアリング等の調査を進め、どのような企業を誘致するか検討し、インフラや関係法令等の課題整理を行いながら、具体的な開発構想の検討を進め、市内外の交流を深める拠点となるよう、市と関係地権者が一体となって整備を進めていきたい。





带状疱疹重症化予防のための ワクチン接種費用助成について



岡本 昌弘

●岡本昌弘議員

带状疱疹の発症は50歳以上に多く、80歳までに3人に1人が発症するとされている。

原因は子どもの頃にかかった水疱瘡のウイルスが加齢やストレスなどの免疫力低下によって再活性化し発症する。ワクチンによって一定の予防効果があるとされているが、現時点では任意接種であり全額自己負担で高額である。

病を未然に防ぐためにも、50歳以上の希望する方が安心して接種できるように助成すべきと思うが、市の見解を伺う。

●保健福祉部長

現在、国の厚生科学審議会において带状疱疹ワクチンの効果や副反応などの検証及び、定期接種化についての審議が継続されているが、期待される効果やその持続期

間、導入に最適な対象年齢などに

検討を要することから、未だ定期接種化には至っていない状況である。

ワクチン接種の助成は、ワクチン接種を積極的に推進していくことにつながるので、特に副反応などの接種に対する安全性の確保について注視していくとともに、国の定期接種化に向けた動向、近隣の状況などを踏まえ、引き続き検討を進めていく。

(掲載以外の質問事項)

☆音声コード(ユニボイス)の

活用・普及について



教職員の働き方改革について



中村 豊

●中村豊議員

本市で学ぶ子どもたち、一人一人に寄り添った学習をするためには、教師の研修時間や教材研究の時間が必要である。子どもたちの

無限の力を引き出すために、個人に合った最適な学習方法を見つけるために教師に時間が必要なのである。そのために、中教審や文科省が推奨している14の業務改善を主とした働き方改革が必要なのである。本市における一昨年から働き方改革の好事例と令和6年度に向けた施策を伺う。

●教育部長

働き方改革の好事例として、市内全小学校に英語専科教員を配置し、専門的な英語教育を展開しながら担任の負担軽減をしている。学校においては、勤怠管理システムを活用した在校時間管理の他、

教科担任制の一部導入や学期末に成績処理のための5時間授業週間を設けるなどの取組を行っている。

●教育長

今年度新たに策定した学校教育改革プランは、児童生徒の学力向上と教職員の働き方改革をねらいとして進めている。今後、みらい型カリキュラムマネジメントの成果と課題を検証し、児童生徒の学びの保障と教職員が働きやすくなるよう改善を図っていく。中学校の部活動は、地域への移行を進める。

また令和6、7年度にかけて、「コミュニティ・スクール」の導入に取り組んでいく。





ドラレコ(ドライブレコーダー)を活用した防犯対策について



染谷 礼子

●染谷礼子議員

導入が増えている防犯カメラは、起こり得る犯罪や不正行為を未然に防ぐことで高い防犯効果があるが、設置費用や経年劣化による維持コストが大変に重く、設置の足かせとなっている。

そこで見守り協力隊を募り、ドライブレコーダーを活用して事件事故の早期発見につなげる為、「ドラレコ」の取組をしてはどうか。協力者にステッカーを配布し街中が動く防犯カメラとして犯罪抑制に大変効果的であると思うが、市の見解を問う。

●総務部長

個人や事業者で取り付けているドライブレコーダーを活用し、『動く防犯カメラ』としての取組は、ドライブレコーダーの情報提供に関する手法や取り扱い等について、

警察との連携が不可欠であることから、本市の管轄である常総警察署をはじめ、常総地区防犯協会等の関係機関・団体とも協議していく。

また、協力者へのステッカーの配布については、ステッカーが貼られた車両が数多く市内を走行することで、犯罪抑止や市民の安心感に繋がることが期待できるものと考えられる。取組を検討する際には、賛同いただいた協力者にステッカーを配布することも併せて検討していく。

(掲載以外の質問事項)

☆男性におけるHPVワクチン

接種について



災害に強い安全なまちづくりについて



小林 芳子

●小林芳子議員

近年、大雨による災害が相次いでおり、今年6月には、本市においても下水道や水路の排水能力を超える雨が降ったことにより、下水道から水があふれ、建物浸水や道路冠水等甚大な被害となった。洪水・土砂災害ハザードマップの他に、内水氾濫による浸水区域等を示した内水ハザードマップの作成も必要と考える。また、防災ベンチや非常用便槽を設置し、防災機能を発揮できる様整備された防災公園の設置が必要と考えるが市の見解を問う。

この整合を図りながら、内水浸水想定区域図を活用した内水ハザードマップの作成に取り組んでいく。市内の公園で指定緊急避難場所に指定している公園は2箇所あり、その内市管理の防災倉庫は2公園、自治会管理の防火資機材倉庫は4公園に設置されている。しかし、非常用便槽等の防災機能設備は、現在のところ公園では設置しておらず、市内公共施設では伊奈庁舎と富士見ヶ丘小学校に設置している。

●都市建設部長

内水ハザードマップの作成について、災害に強い安全なまちづくりに向け大変重要と考えている。引き続き、関係部署と連携し、地域防災計画や洪水ハザードマップ

公園における防災機能を備えた設備の設置については、防災課と調整の上、検討していく。

(掲載以外の質問事項)

☆発達障がい早期発見・早期

支援の必要性について

☆本市における発達障がい児への支援体制について



3歳未満児の保育料について



古川 よし枝

●古川よし枝議員

子どもの幼児教育・保育料が無償化となつて5年が経つ。無償化は3歳以上の児童のみで、3歳未満児については低所得世帯や多子世帯への軽減措置があるものの、共働き世帯の所得は増えるが保育料の負担は重い。3歳未満児の人数、所得階層、保育料軽減措置がされている割合など状況を伺う。

また、保育料の無償化を求める国民の声は大きい。国の動きは鈍い。市独自の3歳児未満の保育料の無償化求めるがどうか。

●こども局長

3歳未満児の保育状況は、令和5年8月現在の認可保育施設で590人、そのうち保育料の軽減対象者は第2子半額軽減措置217人、第3子以降全額無料31人の合計248人で、全体の約4割が軽減措置対象である。

所得階層の分布状況は、第1階層は生活保護世帯、第2階層は市町村民税非課税世帯、第3階層から第8階層までは世帯の収入に応じ、階層区分が設定されており、8月現在、第6階層219人、第5階層175人、第4階層81人で、この三つの階層で全体の7割を占めている。

●市長

市として独自の施策を行うことは、今のところ厳しいと考えている。国がどこまでやってくれるのかという期待はあるので、国の動向を見守っていききたい。

(掲載以外の質問事項)

☆太陽光発電など自然再生エネルギー設備の設置に係る規制について

☆市職員の給与の男女間の格差について



高齢者の生きがいづくりについて



今川 英明

●今川英明議員

現在、4人に1人が高齢者である。高齢者が生きがいをもちながら生活を送れるよう、行政はどのような施策・取組を実施しているのか伺う。

また、核家族の増加により、高齢者が子どもたちとふれあう機会が減少している。高齢者にとって、子どもたちとのふれあいは、生きる活力につながる大切なことであり、子どもたちにとっても高齢者をいたわり、思いやりの心を育む場になる。そういった場が必要であると思うが、市の考えを伺う。

●保健福祉部長

高齢者がいつまでも地域や社会活動等に参加し、生きがいを持って暮らせるよう、関係機関等において、生涯学習や文化活動に加え、地域社会を支える新たな担い手と

して活動できる場づくり等の施策を実施している。引き続き、活動のでいききとした生活を送れるよう、地域住民と共に生きがいづくり施策に取り組んでいく。

また、高齢者にとって子どもたちのふれあいは、生きる活力や生きがいを感じることができ、子どもたちにとっても高齢者をいたわり、思いやる気持ちが育まれるなど、双方にとって良い取組である。高齢者と子どもたちのふれあいの機会が持てるよう保育所や老人福祉施設等と相談し、いきいきと生活できるよう支援していく。

(掲載以外の質問事項)

☆ヤングケアラーについて

☆学校給食について





防犯灯及び街路灯の維持管理について



鐘ヶ江 礼生奈

●鐘ヶ江礼生奈議員

市内には、市が維持管理している防犯灯と、自治会が維持管理している防犯灯がある。高齢化や未加入者が増加する自治会では防犯灯維持管理費の負担も大きく、今後は市への移管や財政的支援も必要かと考える。地域により異なる防犯灯維持管理の状況と今後について見解を伺う。

すれば、今後はより幅広く移管を受けられる必要がある。今年度から要綱改定に向けた準備として、自治会管理の防犯灯設置状況を把握するための現地調査を進めている。また要綱を改定し、移管を受けられるには更なる財源の確保が必要になるため、段階的な受け入れや補助制度の活用など実施可能な手法について慎重に検討していく。

●総務部長

市管理の防犯灯は、令和4年度末時点で5856灯あり、宅地開発に伴い整備された防犯灯で完成時に市に移管されなかったものや自治会等が独自で整備した防犯灯は現在も自治会が管理している。市防犯灯設置要綱の基準に該当するもの限り移管を受けているが、防犯灯の役割や地域の状況を考慮



人材の確保及び若手職員の活躍の場について



直井 高宏

●直井高宏議員

本市はつくばエクスプレス沿線の強みを活かし、県内でも人口増加の稀な自治体と認識されている。地方自治体としての役割は増大し

ており、人材の確保が重要な課題と考えている。市役所が変化していくには、若手職員の力が必要になるので、若手職員からの斬新な提案を受け入れていただけるようお願いし、市では人材を確保するためにどのような取組をしているか伺う。

からの応募を期待している。教養試験だけが高い方ではなく、より柔軟に行政の仕事にマッチできる人物重視の採用を行っている。

若手職員について、外部団体が主催する研修への積極的な参加や様々な分野から外部講師を迎え講演会を開催することで、職員の意識改革や能力向上に努めている。若手職員が提案できる場として、市長への財源確保案の提案会を設けるなど、若手職員が臆することなく、様々な提案ができる職場の雰囲気づくりに努めていく。

●総務部長

人材確保について、採用試験では令和2年度から動画試験を導入し、「人」を重視した採用に繋がっている他、SPI試験を導入し、民間企業を志望する人も公務員試験を受験しやすくし、より広い範囲

(掲載以外の質問事項)

☆公有財産の新たな活用について



令和6年度 予算編成に対する要望

10月2日、つくばみらい市議会では、小田川市長に令和6年度予算編成・施策について、下記の内容の要望書を手渡し、要望活動を行いました。

なお、この要望書は、各常任委員会ごとに委員長が取りまとめ作成したものです。



予算要望内容



(総務常任委員会)

- 1 ふるさと納税を活用した税外収入の強化
- 2 消防団の人員確保と組織の充実
- 3 投票所の増設と投票率向上のための啓発
- 4 交通安全対策の推進
- 5 地域防災組織づくりの推進
- 6 職員の適正な人員配置と専門職を含めた人員確保
- 7 効率的な行財政改革の推進
- 8 市民協働のまちづくりの推進

(教育民生常任委員会)

- 1 ケアラー・ヤングケアラーへの支援の充実
- 2 学校教育改革と教職員の働き方改革の推進
- 3 充実した教育環境の整備と安全な通学路の整備
- 4 福祉・医療・介護の充実
- 5 保育・子育て支援の充実
- 6 障がい者の自立とバリアフリー化の推進
- 7 文化芸術の振興
- 8 スポーツ施設・文化施設・図書館の利用促進と設備の充実

(経済常任委員会)

- 1 スマートIC周辺の地域振興と観光施策の推進
- 2 持続可能な水道事業の推進
- 3 農業施策の推進と生産物のブランド化・スマート農業への支援
- 4 空家・空き地対策及び利活用の推進
- 5 雨水排水対策の推進
- 6 商工業者への振興支援
- 7 幹線道路・生活道路の整備促進及び市街化区域の環境整備
- 8 温暖化対策の推進及び再生可能エネルギーの利用促進



正副議長と3常任委員長が市長に要望



令和5年 第4回定例会

日	月	火	水	木	金	土
11/19	20	21	22	23	24	25
			本会議 (開会)	休会	休会	休会
26	27	28	29	30	12/1	2
休会	本会議(一般質問)			総務常任 委員会	教育民生 常任委員会	休会
3	4	5	6	7	8	9
休会	経済常任 委員会	補正予算 特別委員会	休会	休会	本会議 (閉会)	
10	11	12	13	14	15	16

※日程等については、変更になる場合があります。なお、会期日程は、議会運営委員会（通常は開会日の7日前に開催）で協議され、定例会初日の本会議で決定されますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

ご意見ご感想をお寄せください！

「議会だより」についてのご意見・ご感想をお寄せください。今後の本誌編集の参考にさせていただきます。また、議会についてのご意見等ありましたら併せてお聞かせください。



つくばみらい市
イメージキャラクター
「みらいりんぞう」

◆ 本会議ライブ配信・録画配信 ◆

本会議の様様をインターネットを通して、ご自宅・外出先等からYouTubeのライブ映像をご視聴できます。

また、つくばみらい市議会では、「市民に身近な、開かれた議会」を目指し、ホームページより録画の配信を行っています。それぞれの映像の掲載期間は1年となります。どうぞ、ご覧ください。



◆ 議会TV放映中 ◆

議会開会中、伊奈庁舎、谷和原庁舎及びみらい平市民センターのロビーに設置してあるテレビで、本会議の様子を生中継しています。どうぞ、ご視聴ください。

◆ 会議録の公開について ◆

会議の会議録は、市ホームページ、市立図書館、議会事務局でご覧いただけます。なお、最新の会議録の公開開始は、各定例会終了から概ね3か月後となります。



◆ 音声による議会だより ◆

ホームページでは音声による議会だよりの配信を行っています。音声は、ボランティア団体『朗読グループかたくり』のご協力で作成しています。

また、社会福祉協議会を窓口目目の不自由な方々を対象に、無料でCDの貸し出しをしています。ぜひ、お聴きください。



◆ 市議会の傍聴について ◆

議会は、特別な場合を除き、だれでも傍聴することができます。

傍聴は、先着順で受付票に住所、氏名、年齢を記入していただくことで、傍聴席に入場できます。

議場の構造上、議会映像配信（ライブ配信・録画配信）において、傍聴席が映り込む可能性があります。ご了承ください。

傍聴者の守るべき事項があります。
詳細は議会事務局にお問い合わせ
願います。



● 感染症対策のお願い ●

本会議・委員会を傍聴される際には、次のとおりご協力をお願いします。

1. 傍聴受付前に設置している消毒液で手指の消毒をお願いします。
2. 当日の朝にご自宅で検温し、高熱のある場合や体調不良（だるい・咳が出るなど）の場合は傍聴の自粛をお願いします。

マスクの着用は、「個人の判断」が基本となります。本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないように、ご理解・ご協力をお願いします。



発行：つくばみらい市議会 編集：議会広報特別委員会

〒300-2492 つくばみらい市加藤237番地 TEL：0297-58-2111(代表) FAX：0297-20-5760
URL：https://www.city.tsukubamirai.lg.jp E-mail：gikai01@city.tsukubamirai.lg.jp